

学 校 便 り



<http://www.katsushika-sh.metro.tokyo.jp>

実り多き秋に

校長 山崎 久美

暑さ寒さも彼岸までと言いますが、このことわざのとおり、秋らしい気候となってきました。新型コロナウイルスが猛威を振り、第5波の感染状態が収まらず、さらに変異株による若年層への感染が著しい増加傾向の中で、緊張感を抱えての2学期のスタートでした。学校からクラスターを出さないように、東京都では9月を「対策強化月間」と名を打ち、感染対策を強化しました。本校でも東京都より各教室に配備されたサーキュレーター2台とCO2測定器を活用し、換気の徹底をしました。また、マスクは不織布のものを使用することを基本としました。お子様の不織布マスク使用について、依頼の通知後、早々に御協力くださりありがとうございました。この強化月間のひと月が過ぎようとしています。この間、学校から感染者を出さずにすみ、ほっとしております。東京都の新規感染者数も減少し、医療の状況も落ち着いてきたので緊急事態宣言も解除されることになりました。しかし、これでコロナが収束したわけではありません。引き続き「新しい日常」を取り入れた感染症対策を続けて参ります。

学校行事につきましても、密にならないように対策を取りながらの実施になります。2学期、最大の行事である「かつとく祭」は、ワクチン接種が進めば1日で開催できると計画していたのですが、現状は厳しく、今年も昨年と同様に学年ごとの「学習発表会」とします。12月2日(木)が1年生、12月3日(金)が2年生、12月4日(土)が3年生になります。詳細は後日、お知らせいたします。

さて、10月中旬からⅡ期の実習が始まります。既に、実習先の都合により9月中から実習を実施した生徒もいました。3年生は、進路を決める本当に重要な現場実習となります。Ⅰ期までの実習で得たことや日頃、学校や家庭で付けてきた力を発揮し、卒業後の生活のスタートを希望の所で迎えられよう、心から願っています。また、2年生は、チャレンジ精神をもって、自分の可能性を広げるための実習にしてください。1年生は、校内実習をすることで働くことに対する意識を高めてほしいと思います。1, 2年生は、進路選択がまだ先のことだと思わず、今の自分の力を十分に発揮し、さらに将来に向けて頑張っていくポイントをつかむための大事な機会にしてほしいと思います。

生徒の皆さん一人一人が、現場実習、トライアウト実習、校内実習などの実習において、稲穂が実るがごとくに、将来に向けて多くの学びを得てほしいと思います。

保護者の皆様には、体調管理を始め面接の付き添い、お子様への励まし等、様々な面でお子様への御支援や御協力をいただくこととなりますが、どうぞよろしく願いいたします。

防災訓練を終えて

生活指導主幹 渡辺 浩子

本校の防災教育の取り組みを紹介します。毎月1回の避難訓練では、自分で身を守る行動(自助)と集団行動(共助)の大切さを学んでいます。繰り返しの訓練により、どのような活動場面においても、身を守る行動や、集団で落ち着いてグラウンドに避難することができるようになっていきます。

今月10日の宿泊防災訓練では、特にお互いに協力し合い災害の被害を最小限にする行動(共助)を学びました。初期消火訓練では、大きな声で「火事だ!」と叫び、重い消火器を運び、しっかりホースを握って放水しました。避難所設営訓練では、就寝用のマットや非常食を運び出し、実際に床に寝る体験をしました。「こんなマットでは眠れないよ。」と困った様子を見せる生徒もいました。過去の宿泊防災訓練では、慣れない紙コップでは思うように水分が摂れないことが分かり、学校の防災リュックにマイコップを入れておくことにした例があります。この機会に避難生活にはどんな準備が必要か、御家庭でもぜひ話し合ってください。

最後に、本校は葛飾区と提携し、地域の福祉避難所となっています。1学期に行われた防災教育推進委員会では、保護者の代表と町会、金町消防署、常盤中学校防災担当と災害対策について懇談しました。自治会の防災に関する取り組みの情報共有と共に、保護者の方の防災に関する率直な御意見を伺うことができました。これからも地域と連携し、生徒への防災教育を続けてまいります。